



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2010年7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

会報

「ピナツボ復興むさしのネット」の共催を得て 第14回日本太鼓チャリティコンサートを開催



(フィナーレ)

6月4日(金)、恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを草月ホール(東京都港区)で開催いたしました。

このコンサートは日本財団の助成事業として行われ、今回は「ピナツボ復興むさしのネット(ピナツト)」の共催を得て実施いたしました。「ピナツト」は1991年6月のフィリピン・ピナツボ火山噴火の被害者を救う活動から始まり、現在ではフィリピンへの支援・交流活動と、日本語教室の開設など東京・武蔵野地域に暮らす外国人への支援・交流活動の2本柱で活動を行っています。

会場には、「ピナツト」の活動を紹介するパネルが展示され、多くのお客様の関心が集まりました。

当日は各国の在日大使、政・官・財界及び各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただきました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長、共催者を代表して「ピナツボ復興むさしのネット」山田久仁子代表のご挨拶の後、当財団加盟800団体から選ばれた4団体に加え、昨年11月に開催された「第6回日本太鼓シニアコンクール」名人位を獲得した寺野明さんと本年3月に開催された「第12回日本太鼓ジュニアコンクール」優勝チームの合計6団体による演奏が行われました。

まず、トップの「野武士」(福岡)は九州の男性らしさを肌で感じさせる太鼓で客席を圧倒していました。「相模龍王太鼓」(神奈川)はブラックライトを使い、暗闇の中でパチが浮きあがり、太鼓が鳴り響く幻想的な雰囲気の中での演奏となりました。「ハツ杉権現太鼓」(福井)は大太鼓を中心としたパワフル

な演奏で、観客の皆様を楽しませました。

「三宅島芸能同志会」(東京)は代表者である父と息子3人の息の合った太鼓の打ち込みと、威勢の良い「わっしょい」のかけ声に会場の観客の皆さんは手拍子で盛り上げていました。次に「日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた「住吉神社御神事太鼓保存会」(石川)の寺野明さんの演奏です。太鼓を長年打ち続けた方だけが持つ、円熟味のある太鼓を披露しました。最後は「日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝チーム「橘太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)が大トリを飾りました。2008年に続いて、史上初となる2度目の優勝を勝ち取った子供達の真剣な表情と迫力に、観客の皆様から惜しめない拍手が沸き起こりました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで閉演となりました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口での送り太鼓でお見送りしました。観客の皆様は、太鼓に元気をもらったと喜んでおられました。

皆様のご協力により、1,055,000円の募金が集まり、全額を「ピナツボ復興むさしのネット」にお渡しいたしました。フィリピンへの支援・交流活動と、日本語教室の開設など武蔵野地域に暮らす外国人への支援・交流活動に役立てたいと言われておりました。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

＜出演団体＞

1. 野武士(福岡)
2. 相模龍王太鼓(神奈川)
3. ハツ杉権現太鼓(福井)
4. 三宅島芸能同志会(東京)
5. 住吉神社御神事太鼓保存会・寺野明(石川)
*第6回シニアコンクール名人位
6. 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)
*第12回ジュニアコンクール優勝チーム

*「ピナツボ復興むさしのネット」よりご寄稿いただきました。

ピナツボ復興むさしのネット 代表 山田 久仁子

6月4日(金)第14回日本太鼓チャリティコンサートが草月ホールで開催されました。今回、このチャリティの支援先に「ピナツボ復興むさしのネット(ピナット)」が選ばれましたことは本当に嬉しいことでした。心から感謝申し上げます。

私たちの会は'91年6月のフィリピン・ピナツボ火山大噴火の被災者支援として'92年1月に東京三鷹の地で発足しました。災害復興への緊急支援を経た後に地域に住む在日外国人との交流へと発展し、現在では、日本語教室・子どもの学習支援教室・国際理解教室ーフィリピンボックスの普及、海外では日本人助産師運営のクリニック支援、フィリピンの戦争被害者・元「慰安婦」の支援・交流など5つのチームが活動するようになりました。

このたびのコンサートは、政財界及び各分野で活躍されている方を始め、「ピナット」のスタッフや子どもたち、その家族、チームを支えるピナット会員たちなどが参加させて頂きました。

全国から出演されたえりすぐりのグループによる演奏は、とても地域の特色あふれるもので、九州出身の人は福岡の野武士グループに、筑豊気質を感じて懐かしいと満足し、又三宅島の家族による演奏は、知人を通して知っている人が、あの子がこんなに大きくなったとは、と身を乗り出し、又子どもたちは宮崎ジュニアの音とパフォーマンスにみとれ、かっこいいと目を丸くし、終了時、通路で出演者と会話したり握手したことも感激の様子でした。地域に根ざした文化をこのように守り発展させている人々がいることをさらに多くの人々が知り、その街の活性化にもつながっていったら素晴らしい、地方持ち回りのチャリティコンサートなどいいのではないかと等、積極的な意見も寄せられました。

三鷹・武蔵野地域での当会の活動が、このように広い分野で活躍される方々の前で認められましたことは、スタッフや子どもたち、会員にとっても大きな自信と誇りにもなりました。コンサートの募金総額は1,055,000円となりました。当会の活動に有効に役立てていきたいと思えます。

日本太鼓連盟の会長、理事長様はじめ、関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。



(挨拶をする山田代表)



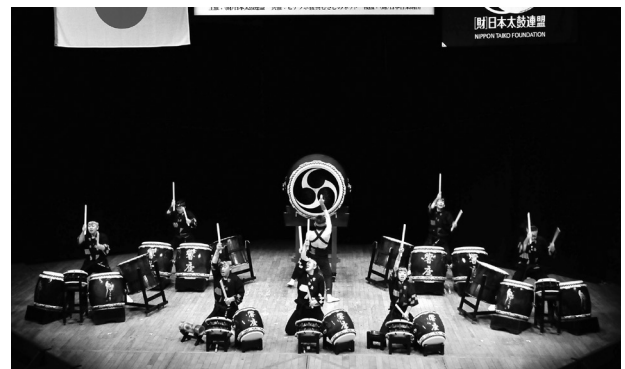
(野武士・福岡)



(住吉神社御神事太鼓・寺野明・石川)



(三宅島芸能同志会・東京)



(橘太鼓「響座」ジュニア・宮崎)

*「相模龍王太鼓」、「八ツ杉権現太鼓」よりご寄稿いただきました。

相模龍王太鼓 会長 大西 堅幸

去る6月4日、第14回日本太鼓チャリティコンサートが東京・草月ホールにて開催され、微力ながら当会も参加させて頂きました。

当会は創立31年を迎えますが、私自身は入会して僅か10年、昨年末に就任したばかりの新米会長であります。今回のような大きなイベントへの出演依頼は非常に嬉しく、また会長就任来初の大舞台となりました。

今回披露させて頂いた曲は「龍王乱舞太鼓」という当会の十八番です。曲名のとおり龍が乱舞している様子を太鼓で表現し、勇壮華麗な撥擲きを見所とした曲です。猛特訓の成果が発揮できたのか、おかげさまで大きな拍手を頂くことができ、お見送り際にはたくさんのお客様に「ありがとう!」「素晴らしかったよ!」「元気もらったよ!」と、ありがたいお言葉を頂くことができました。太鼓打ちにとって一番の喜びと励みは、このような一言を頂けた時ではないでしょうか。

私は太鼓を打つ時、観てくださるすべての方に「太鼓から元気ももらって欲しい!」と思って演奏しています。聴いていただいた方が「太鼓を通じて元気になる!」そのお手伝いをできれば太鼓打ちとしてこれ以上幸いなことはありません。

来場して下さったお客様全員が太鼓から元気ももらい、その元気を家族へ、職場や学校の仲間へ、友人へ…。みんなが元気と平和に包まれ、その輪が二重にも三重にも広がり世界中が元気と平和で包まれる。そんなことを夢見ながら太鼓を演奏しています。

私達は小さな小さな発信源です。

しかしながら、観てくださる方々、その周囲の方々、そして世界中に大きな「元気」が伝播されるよう、これからも心に響く太鼓を目指し打ち続けます。そして、今回のイベントのように、私達の太鼓の響きが世界中で困っている方々への助けになることができれば幸いです。

素晴らしい機会を与えて下さった関係者の方々、来場して下さった方々、そして世界中の和太鼓ファンの皆様へ感謝申し上げます。



八ツ杉権現太鼓 代表 高橋 秀行

故郷にそびえる山より名をいただいた八ツ杉権現太鼓チームは、産声をあげてから30有余年を迎えました。

福井は昔より太鼓の盛んな所で、多くの太鼓チームがありました。様々な太鼓の音に囲まれている中、地元より大きな要望、後援もあり、郷土の太鼓チームが誕生しました。見聞きし、研究・練習を重ねながら多くの後援者、喜んで下さる人々の笑顔を頼りに30年を迎えました。

一本打ちから創作太鼓へと大きな流れはありましたが、チーム一丸となって打ち揃える創作曲は楽しみ、喜びがいっぱいでした。

結成10年を過ぎた頃より子供達への太鼓普及ということで、子供太鼓育成にも取りかかりました。

“太鼓”という日本の文化を通して、和のもつ“礼儀”に重点を置いて展開しています。

“礼に始まり、礼に終わる”

園児から中学生まで礼を尽くして和を重んじる日々の練習の中でその精神を培っていければと考えます。

今回、チャリティコンサートに参加させて頂いたメンバーの半分は子供太鼓出身です。半世紀余りにわたって太鼓を通じ、同じ心と同じチームから感じられる喜びを感じています。

全国のチームと競(共)演させて頂いた今回の公演はメンバーにとって貴重な体験となりました。

太鼓を愛する仲間が、全国でがんばっているという実感をいただきました。ありがとうございました。

今回の機会をいただきました日本太鼓連盟に感謝し、これからも太鼓普及の為に微力ながら協力をさせていただきます。どうもありがとうございました。



*ジュニアコンクールに特別出演した、ブラジル「パラバイ寿太鼓」より感想文をいただきました。
一部ご紹介いたします。

ブラジル太鼓協会会長 島田 オルランド 謙二

今年3月初めて祖父母、両親の生まれ育った国、日本を訪れました。現在58歳である私にとって、人生の境界線のようなものです。それは、日本の文化和太鼓との出会い、そして、財団法人日本太鼓連盟のお蔭です。

今までは本や雑誌、友人から聞いたこと、または歌詞でしか知らなかった日本のいくつかの美しい名所を実際に私の目で見ることができました。先端技術を持つ国、美味しい料理、そして素晴らしい方々に会いました。

第12回日本太鼓ジュニアコンクールに参加させていただいた機会には、円滑に開催するための準備、設備などをどのようにしているかを学ぶことができました。今回の日本訪問の最も有意義であったことだと思います。

今後ともブラジル太鼓協会の会長として、日本で学んだことを活かし、がんばっていくつもりです。

世界で最も優れた国を見たり、知識を広めることができ、誇りに思っています。

心から感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

パラバイ寿太鼓代表 伊藤 栄子

パラバイ寿太鼓は、3月18日新東京国際空港に到着しました。第1日目から最後の日まで、財団法人日本太鼓連盟の方々から頂いたお心遣いは、言葉では到底表すことができません。

3月21日の本番までは緊張の連続でしたが、私たちが空いた時間に練習が出来るよう、蓑輪先生と私たちチームの先生である雄二さんが考えてくださり大いに助かりました。

夜は、昨年の優勝チームの「太鼓研修センター『響』」の人たちと夕食を共にする一席を設けていただき、大感激でした。言葉の壁はありましたが、蓑輪先生と秋田さんのお蔭で笑いの絶えない会となり、非常に元気づけられました。

フェスティバル当日の開会式では、松本会長と塩見理事長からパラバイ寿太鼓にお言葉を賜り、代表者として身の引き締まる思いでした。演奏が始まってからは、日本の太鼓チームの地域色と構成、機敏なパチさばき、色鮮やかな衣装やハチマキ、多くのチームの完成度高い演奏を目の当たりにして、私たち一人一人がレベルの高さを思い知らされました。

23日は、渡辺洋一先生のご指導による特別講習会を受け、一層練習に励むように、またテンポやリズムの取り方などを教わりました。ご忠告を肝に銘じて更なる修練をつむ決意しております。

大泉町と富士市での同胞ブラジル人学校での公演は、私たちに新しい経験を与えてくれ、よい勉強の場となりました。その折、先生や生徒たちとふれあうことができ、感謝の気持ちでいっぱいでした。

日本財団を表敬訪問した折、笹川会長や塩見理事長

と間近に接する機会に恵まれ、理事長からは、「大切なことは、単に太鼓を打つだけではなくて、真の意義は、団結心、忍耐力、友情を育むこと」というお言葉を頂き、胸に刻みました。

今回の旅では、メンバーの1人が、2年ぶりに両親と再会するという思わぬ嬉しい出来事もありました。これも太鼓のお蔭です。みんなの夢を実現させてくれた東京ディズニーランドでのひと時。土産物を買うのにみんながおおわらわだつた浅草。浅草寺では香煙を浴びて、願い事をしました。

今回の訪日では、若者たちの人間形成の上で、何物にも替えがたい、大きなものを授かったと確信しております。正しい態度、規律、誠実、規則の厳守などを学ばせていただきました。

財団法人日本太鼓連盟に衷心よりお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

チームリーダー フランクリン 三好 伊川

日本へ行く前の日はドキドキで眠れませんでした。初めて飛行機で旅行します。日本太鼓連盟の皆さまにお会いして埼玉へ行きました。素晴らしいホテルに泊まりました。

次の日には会場へ行きコンクールに参加するチームのリハーサルを見ました。すばらしかったです。コンクールの終わりにわたしたちは日本太鼓連盟から「寿太鼓」と書いてある長胴太鼓と締め太鼓をもらいました。胸がいっぱいになりました。ありがとうございました。

「研修センター『響』」の皆さんとの交流はとてものしかったです。ブラジルの踊りであるサンバをおどりました。

渡辺洋一先生と太鼓の練習をしました。ディズニーで遊んでカレーを食べました。楽しかったです。

ごはんはどれもがおいしかったのですが、特にしゃぶしゃぶが忘れられません。初めて温泉にも入りました。近くで富士山も見ました。

おじいちゃん、おばあちゃんの故郷である日本に行けたことはとってもうれしかったです。

わたしたちは日本でみなさんから非常にやさしく応対していただきました。日本に行けたことはいまでも夢のようです。

この素晴らしい日本の文化を、太鼓を通してみんなに伝えていきたいです。ありがとうございました。



(ジュニアコンクールでの演奏)

各地で太鼓講習会を開催！

<第48回日本太鼓支部講習会(福岡)>

5月22・23日(土日)、福岡県支部主催による支部講習会がグローバルアリーナで行われ、5級基本講座に地元福岡県をはじめ、25名が参加しました。開会式では全九州太鼓連合より長谷川会長、福岡県支部より川原支部長、当財団より中西常務からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。なお、今回は全盲の方も受講し、全員が立派な成績で合格しました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 16名受験 16名合格



(5級基本講座の様子)

<第38回日本太鼓全国講習会(石川)>

6月26・27日(土日)、石川県支部主管の全国講習会を、川北町役場文化センターにて実施いたしました。地元石川県をはじめ、全国16府県から125名が受講しました。

開会式では、財団を代表して塩見理事長、前川北副町長、石川県支部長の代理で北國新聞社より鶴山事業局部長、作野県議会議員からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	12名受験	12名合格	(1名認定)
2級検定	12名受験	11名合格	(認定なし)
3級検定	4名受験	4名合格	
4級検定	21名受験	21名合格	
5級検定	42名受験	42名合格	



(専門講座・大太鼓講座の様子)

***新支部長就任後、初の支部講習会を開催した福岡県支部よりご寄稿いただきました。**

福岡県支部 事務局長 三角 泰子

はじめに、この度の「第48回 日本太鼓支部講習会」を開催するにあたり、ご尽力頂きました(財)日本太鼓連盟をはじめ、各方面の皆様、衷心から御礼申し上げます。

今回の支部講習会は、5級基本講座に的を絞って実施させて頂きました。福岡県支部と致しましては、これが役員改選後初の事業であり、多数のご協力を得ながらの取り組みとなりましたが、取組み開始からの工程を経験し、事業をやり遂げた事が支部役員、会員の自信につながった事は、今後の支部活動を行っていくうえでも大変意味あるものであったと実感しています。

講師の先生方には、事前打合せから講習会終了に至るまで、受講生のみならず支部スタッフにも懇切丁寧なご指導を頂き、また、財団事務局、全九州太鼓連合の皆様から多大なご協力を頂きました事には、感謝はもとより、日本太鼓に寄与する事業実施において、全国からの協力体制が非常に近しくある事に安心と心強さを感じました。開会式に於きましても、財団事務局をはじめ、九州各県支部からのご出席と激励を賜り、本事業への意欲と共に事業開催地としての福岡のあり方や今後の福岡県支部活動を改めて見直す機会となりました。講座中の受講生の熱心な姿と、参加経験の成果を綴った感想文に、関係者一同事業開催の達成感を得ることも出来ました。

和太鼓を通して、舞台上その良さを披露する事や、地域的な係わりをもつこと等は勿論、太鼓本来の意味や基礎を学ぶことは、自身の役に立つだけではなく、技術者育成での日本文化の継承という大きな役割をも果たすものと考えます。国際的文化交流と情報交換機能の発達した時代に、世界的に伝承すべき精神文化を持つ国で、和太鼓に携わる事が出来ることに感謝し、今回の経験を糧として、今後の事業にも皆様からのご期待に添えるように、支部一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



(福岡県支部・川原邦裕支部長)

成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月10・11日(土日)、千葉県成田市において例年20万人もの人が訪れる「成田太鼓祭」が開催されました。

今年も千葉県支部、千葉県太鼓連盟主催、当財団の共催により「全国太鼓情報発信基地」のブースを設置し太鼓を紹介しました。情報発信基地では、パネルを展示したほか、浅野太鼓のご協力を得て大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーを設け、多くの方が太鼓に親しまれていました。特に外国人やお子さんが多くいらっしゃいました。

暖かい春の日差しに包まれながらの太鼓見物はすっかりこの地に定着したようです。



(全国太鼓情報発信基地)

橋本光司氏、北海道知事から感謝状を贈呈される

6月30日(水)、北海道庁において、橋本光司氏(北海道道央支部長・橋本流地獄太鼓和太鼓会代表・当財団運営委員・1級公認指導員)に、北海道知事より感謝状が贈呈されました。これは、日本太鼓奏者、指導者としての顕著な活動による地域文化振興への多大なる貢献を評価されたものです。心よりお祝い申し上げます。

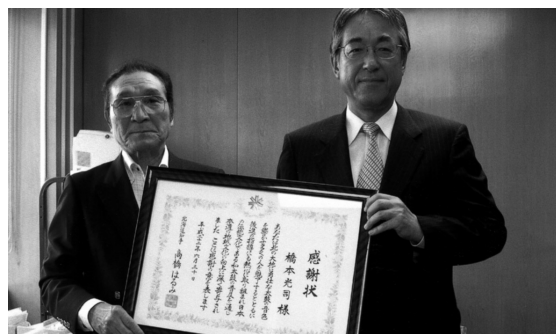
<文面>

「感謝状

橋本 光司様

あなたは、北の大地に勇壮な太鼓の音色を響かせ多くの人を魅了するとともに後進の指導にも熱心に取り組まれ日本の伝統文化である和太鼓の普及を通じ本道の地域文化の向上に深く寄与されましたここに感謝の意を表します

北海道知事 高橋はるみ」



(感謝状を受け取る橋本氏・写真左)

全国障害者大会出場チーム決定！！

10月17日(日)千葉県成田市のフィットネスハウス・アリーナ(成田市体育館)にて、「第12回日本太鼓全国障害者大会」が開催されます。出演団体は29チームを数え、過去最多となります。今年はアメリカより知的障害者チームであるトライアングル・スペシャル太鼓が特別出演致します。皆様のご来場心よりお待ちしております。

期日：2010年10月17日(日) 12：00開場 12：30開演 17：30終演予定

会場：フィットネスハウス・アリーナ(成田市体育館)(千葉県成田市中台5-2)

入場：無料

出演団体は以下の通りです。

(順不同)

あそかの園同朋太鼓(山口)、石川県立明和特別支援学校龍剣太鼓(石川)、石川県立ろう学校風神太鼓(石川)、伊豆医療福祉センターどんつく(静岡)、一太鼓(福島)、恵那のまつり太鼓(岐阜)、遠州袋井太鼓保存会スマイルズ(静岡)、大分県社会福祉事業団 大分県糸口学園糸口太鼓(大分)、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡)、川岸小学校支援太鼓ドラゴン・キッズ(長野)、甲州ろうあ太鼓(山梨)、鼓友夢光組(富山)、四国中央磐座太鼓ろうあ部会鼓龍会(愛媛)、静岡県立静岡北特別支援学校北龍太鼓(静岡)、静岡ハンディキャップ太鼓の会(静岡)、社団法人東京都聴覚障害者連盟文化都大江戸助六流東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」(東京)、縄楽座(千葉)、しらとり太鼓(茨城)、すみれ太鼓(長野)、諏訪養どんどん太鼓(長野)、豊里学園和太鼓鼓粹(大阪)、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会(新潟)、のぞみ太鼓(北海道)、富岳太鼓竜神組(静岡)、ファミリーユニット童鼓(岐阜)、やまびこ太鼓(福島)、和太鼓流星群 with X(東京)、社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓(石川)

特別出演：トライアングル・スペシャル太鼓(米国)

各種会議を開催

～理事会・評議員会・代議員会・運営委員会・技術委員会～

第27回理事会並びに第25回評議員会が6月23日(水)に開催され、次の事項が審議、承認された。

<理事会>

1. 「2009年度事業報告及び決算について」
2. 「役員改選に伴う会長、副会長、理事長、常務理事の選任について」
3. 「公益財団法人への移行について」

<評議員会>

1. 「2009年度事業報告及び決算について」
2. 「任期満了に伴う理事・監事の選任について」
3. 「公益財団法人への移行について」

第13回代議員会が7月8日(木)に開催されました。また、同日に第42回運営委員会と第37回技術委員会が合同で開催されました。審議、承認された事項は次の通りです。

<代議員会>

1. 「2009年度事業報告並び決算報告について」
2. 「2010年度事業計画並び収支予算について」
3. 「その他について」

<運営委員会・技術委員会>

1. 「2009年度事業報告について」
2. 「2010年度事業計画について」
- ①「日本太鼓ジュニアコンクールについて」
- ②「日本太鼓全国障害者大会について」
- ③「日本太鼓シニアコンクールについて」

3. 「日本太鼓資格認定制度について」

①「公認指導員の認定について」

各支部より3級公認指導員として推薦のあった候補者の認定の可否について古屋技術委員長より、指導状況についての報告があり検討した。審議の内容と結果は次のとおり。

長谷川準氏(大分県)、五十嵐善一氏(静岡県)、早野均氏(静岡県)、岡田健二氏(愛知県)、服部貴行氏(愛知県)の5名を3級公認指導員に認定。

②「第4期更新研修会の結果について」

2009年度に実施した第4期公認指導員更新研修会の参加状況を報告した。更新対象者211名の内、169名が更新を終了し、残る42名について検討した結果、前回同様、運営委員長と技術委員長の協議に一任することとした。

その他

①「公益法人改革について」

議長より公益法人改革について、経緯の説明と今後は公益財団法人としての認定を目指す旨の説明があった。出席者からは、支部のあり方についての対応を心配する発言があったが、議長よりの説明で了承された。

②「故猪越三郎氏の葬儀について」

福島県の渡辺徳太郎委員から前福島県支部長の、故猪越三郎氏の葬儀に対するお礼の言葉があった。

公認指導員更新研修会欠席者(未更新者)の対応について

2009年度は公認指導員の更新研修会が4回に亘り行われました。更新対象者211名の内、169名が更新を終了、42名の欠席者の対応について、欠席の諸事情を勘案の上、運営委員長と技術委員長との協議の結果、以下の通り対応することが決定いたしました。なお、免除された場合においても8月中に更新の手続きが必要となります。

○出席を免除し更新手続きを行う者

- | | | |
|---------|----|---|
| 1級公認指導員 | 2名 | 1-3 半間正(新潟)、1-25 田中誠一(米国) |
| 2級公認指導員 | 6名 | 2-5 貫井武雄(千葉)、2-6 服部勝利(岐阜)、2-9 樋口忠三(島根)、2-17 笹光雄(茨城)
2-27 及川勝(北海道)、2-38 釜口治一(石川) |
| 3級公認指導員 | 6名 | 3-8 笠原春男(千葉)、3-61 萩原洋子(群馬)、3-62 萩原均(群馬)、3-86 田中平一郎(佐賀)
3-141 佐藤一枝(秋田)、3-179 蓑輪真弥(宮崎) |

○降格とする者

- | | | |
|-------------------|----|---|
| 2級公認指導員から3級公認指導員へ | 2名 | 2-24 和田正人(岐阜)、2-55 山下実(長崎) |
| 3級公認指導員から1級技術認定員へ | 6名 | 3-10 遠藤一子(岩手)、3-20 本田幸男(鳥取)、3-53 吉田正宏(福島)、3-54 福地隆一(福島)
3-125 高橋浩一(秋田)、3-126 堀嘉哉(秋田) |

○資格喪失とする者

- | | | |
|---------|-----|---|
| 2級公認指導員 | 4名 | 2-36 木越治(石川)、2-46 紺田勉(富山)、2-48 鴨野浩司(富山)、2-74 高木克美(京都) |
| 3級公認指導員 | 16名 | 3-14 荒引定男(福島)、3-22 小野寺直人(岩手)、3-25 三浦良一郎(岩手)、3-29 寺田禎(島根)、3-30 小泉強(福井)
3-34 小山芳信(岩手)、3-36 本間敏裕(山形)、3-47 龍健(山形)、3-75 高橋和美(福井)、3-87 村田征二(長崎)
3-98 宮本亮(京都)、3-100 野田悟(大阪)、3-105 鈴木菊男(栃木)、3-114 三浦康之(秋田)、3-116 高橋英樹(秋田)
3-139 小室忠史(栃木) |

事務局だより

第39回日本太鼓全国講習会（福島県福島市）

期 日：2010年10月30・31日(土日)

主 管：(財)日本太鼓連盟福島県支部

会 場：パルセいいざか（福島県福島市飯坂町字筑前27-1）

専門講座

御諏訪太鼓講座(単式複打法) 松枝 明美氏（長野県）

蘭導太鼓講座(複式複打法) 鈴木 孝喜氏（秋田県）

大太鼓講座(単式単打法) 龍 連山氏（山形県）

基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏（技術委員会委員長）

3級基本講座 安江 信寿氏（1級公認指導員）

4級基本講座 渡辺徳太郎氏（1級公認指導員）

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一氏（1級公認指導員）

申込先：

(財)日本太鼓連盟福島県支部 事務局長 渡辺 勉

〒960-8602 福島県福島市太田町13-17 Tel.024-531-4173 Fax.024-531-4157

携帯 090-3984-3065

締 切：10月15日(金)(当日到着分まで有効)

第49回日本太鼓支部講習会（長野県安曇野市）

期 日：2010年12月4・5日(土日)

主 催：(財)日本太鼓連盟長野県支部

会 場：安曇野市穂高会館

（長野県安曇野市穂高5047）

講 座

3級・4級・5級基本講座を予定

*詳細は決定次第、当財団ホームページでお知らせ致します。

第40回日本太鼓全国講習会（大分県由布市）

期 日：2011年2月26・27日(土日)

主 管：(財)日本太鼓連盟大分県支部

会 場：湯布院自然の家 ゆふの丘プラザ

（大分県由布市湯布院町川西1200-8）

講 座：3級・4級・5級基本講座、

専門講座3講座を予定

*詳細は決定次第、当財団ホームページでお知らせ致します。

第7回日本太鼓シニアコンクール出演者募集！

日 時：2010年11月21日(日) 開演14時(予定)

*午前には日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会 場：石川県こまつ芸術劇場うらら

（石川県小松市土居原町710） *JR北陸本線「小松」駅下車徒歩1分

主 催：(財)日本太鼓連盟、(社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

出場資格 ①個人が審査の対象となる場合は、大会当日満60歳以上であること。

②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。

演奏時間：3分以上5分未満

費 用：全ての費用は出場者の自己負担（参加料は不要）

表 彰：名人位、準名人、特別賞など

申 込：(財)日本太鼓連盟事務局

〒107-0052港区赤坂1-2-2

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580 メール：info@nippon-taiko.or.jp

申込締切：2010年10月20日(水) 当日消印有効

計 報

日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただきました猪越三郎氏(前福島県支部長・「岩代國郡山うねめ太鼓保存会」代表)が6月6日(日)ご逝去されました。(享年77歳)

ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。